

箕輪町第4次振興計画の評価

第1章 ふれ合いを深め、みんなで作る協働のまちづくり

項目	実施した施策	数値目標			施策に対する評価	住民満足度 5段階評価 平均点	全体評価
		指標	目標	H26			
協働のまちづくりの推進	1%ルール(町税収入の1%)を協働のまちづくり事業を推進	—	—	—	地区の自主的な協働事業に寄与 区の財源として定着し、 一部内容が固定化	3.19	○地域による自主的な協働事業を施策化、地域でも活用  ○町広報媒体の利用率の低下は課題  ○常会の加入率低下に伴う影響について検討が必要
地域の活性化	地域総合活性化事業交付金事業	交付金事業実施件数	90件	67件			
情報の共有化	出前講座	講座の実勢件数(述べ件数)	40件	22件	出前講座の内訳は保健福祉関係が大半 常会加入率の低下に伴い、配布率が低下 H27から郵送による全戸配布に転向 情報量等は増加したが、アクセス件数は減少 予算時における事務事業評価は実施していたが目標との整合は不十分	3.54	
	広報みのわの充実	広報の世帯配布率	90.0%	77.3%			
	町ホームページの充実	アクセス件数	500件	150件			
効率的な行政経営の推進	予算時点での事務事業評価	行政評価制度の導入年度	H23	未導入	—	—	
自治基本条例の制定	箕輪町自治基本条例の制定	—	—	—	平成26年度に施行 町民への浸透が課題	3.19	

箕輪町第4次振興計画の評価

第2章 誰もが健やかに暮らせるぬくもりのあるまちづくり

項目	実施した施策	数値目標			施策に対する評価	住民満足度 5段階評価 平均点	全体評価
		指標	目標	H26			
健康づくりの推進	生活習慣病予防	元気センター利用者数の増加率	6.0%	6.0%	新規利用者の開拓が課題	3.70	○健康づくりの事業はこれまでも実施
	介護予防	介護保険認定者数	856人	912人	高齢化の進展に伴う今後の利用者増に対応が必要		
	成人検診の充実	内臓脂肪症候群の該当者割合	5.0%	6.6%	特定保健指導の実施により該当者を抑制		
検診受診率		増加	43.4%	受診率のさらなる向上が必要			
医療体制の充実	救急医療対策 高度医療対策	伊那中央病院の充実	—	—	伊那中央病院の救急医療、高度医療の充実により「かかりつけ医」の普及定着	3.40	○増加する介護保険認定者に対応するため、介護予防対策等が必要  ○構築された医療体制を維持する一方、医療費の抑制は課題
	地域医療対策	東部診療所の充実	—	—	地域に信頼される医療の実施		
	医療費の伸びの抑制・保健事業の充実	一人あたり医療費(国保)	260,000円	305,452円	医療の高度化により増額 医療費の抑制には重症化の抑制が必要。		
イコールorベターの福祉政策の推進	ボランティア団体の育成とNPO活動の推進	地域福祉活動のリーダー数	30人	57人	社協が地域福祉コーディネーターを設置したが、具体的な活動はこれから。	3.26	○地域福祉ネットワークは構築されたが、福祉人材の活用などソフト面での福祉政策の充実が必要
		ボランティア登録者数	1,500人	734人	地域支援サポーター・認知症サポーター講座を開催し、ボランティアを育成。その反面、高齢化による活動停止も増加。		
	福祉教育の推進	生涯学習講座の開設	1回/年	7回/年	社協により学校現場で福祉教育を実施		

項目	実施した施策	数値目標			施策に対する評価	住民満足度 5段階評価 平均点	全体評価
		指標	目標	H26			
ともに支えあう地域 福祉社会の構築	地域福祉ネットワークの構築	災害時住民支えあいマップの作成区	15区	15区	全区で作成し、毎年更新。平常時のネットワーク構築は今後の課題。拠点整備は完了。ソフト面の充実が課題。	3.26	
	地域介護拠点の整備	地域活動拠点箇所数	12箇所	12箇所			
子育て支援の充実	地域の子育て力の向上	保育サポーター登録者数	40人	22人	核家族化により利用希望者は増加。サポーター登録者数は伸び悩み。 平成26年度に2園を統合し開園 その他の保育園についても対応を検討	3.55	○保育園の整備を実施、子育てしやすい環境整備が必要
	保育環境の整備	東みのわ保育園の開園	—	—			

箕輪町第4次振興計画の評価

第3章 住みやすく人にやさしい都市基盤の整備を目指したまちづくり

項目	実施した施策	数値目標			施策に対する評価	住民満足度 5段階評価 平均点	全体評価
		指標	目標	H26			
道路整備	国道バイパス4車線化対策事業	町道の整備延長	900m	565m	バイパス4車線化に伴う裏道整備で車のすれ違いが可能となった。用地取得困難で未改良箇所あり。	2.95	○道路整備、下水道の新規整備はほぼ完了。今後は維持や施設の長寿命化が課題  ○道路整備については住宅開発に伴う対応が課題
	地域の要望にこたえる生活道路の整備	町道舗装率	80.0%	77.1%	住宅地の拡大に伴う町道の整備が課題		
	町道1号線の改修	広域農道舗装修繕延長	6.39km	4.50km	国庫補助事業を活用して維持補修を実施しているため改修箇所が限定		
下水道接続率の向上と下水道財政の安定化	全町水洗化による住環境の改善	水洗化率	82.2%	80.0%	下水道普及率は99.3%に達し、事業は概ね完了	3.15	○人口増加には住宅誘致が一つの手段 今後の人口増加や土地利用のあり方等をもとに検討
	下水道経営の健全化・維持管理の効率化	下水道会計の公営企業化	—	H25移行	今後は経営状況を的確に把握し健全経営に努める。		
雨水対策事業の計画的推進	雨に強いまちづくり	雨水排水設備の面積的進捗率	—	37.0%	下水道事業の経営状況を見ながら整備		
人口増加を目指した住宅の誘致	住宅誘致の推進	住宅分譲計画地区の数	2	—	農業地の制約があり進まない。	—	

箕輪町第4次振興計画の評価

第4章 環境にやさしく、安心、安全、快適に暮らせるまちづくり

項目	実施した施策	数値目標			施策に対する評価	住民満足度 5段階評価 平均点	全体評価
		指標	目標	H26			
地球に優しい環境 づくり	新エネルギーの導入普及	住宅用太陽光発電設備 導入補助	300件	641件	目標を上回る導入を達成。国の補助金もH25に終了。	3.49	○環境への取組みは概ね目標達成  ○現状を維持するための取組みが必要
	ごみ減量化・再資源化意識の高揚	家庭系ごみ1日の排出量	589g	507g	店舗による回収開始等によりごみ処理削減を達成。		
安心安全のまちづくり	セーフコミュニティを指し した全町横断的な活動	WHOセーフコミュニティ 認証取得	—	H24取得	活動の「見える化」による町民意識の向上。平成29年度に再取得。	3.60	○SC認証取得や消防等の施設整備は順調に推進  ○制度の活用等、今後の継続的な取組みが課題。
	防犯街灯の整備	犯罪発生件数	140件	118件	H23～H26に2,839基をLED化。		
	交通安全意識の向上	交通事故件数	70件	75件	交通安全運動を中心に啓発実施。H20の105件から減少。		
消防救急体制の強化・推進	救急・救助体制の強化	住民の普通救命講習会 受講者数	4,000人	3,911人	目標をほぼ達成。今後は実践的な講習と再講習等により継続。	3.60	○制度の活用等、今後の継続的な取組みが課題。
	消防団の活性化	女性消防団の加入数	5人	17人	女性消防団員は増加。諸施策により消防団の活性化を図る。		
	消防設備・消防水利の 整備充実	耐震防火水槽設置数	219基	225基	目標を達成。今後の設置必要箇所の把握と計画的な設置を推進。		
消火栓設置数		714基	760基				

箕輪町第4次振興計画の評価

第5章 創造と活力に満ちた産業を育てるまちづくり

項目	実施した施策	数値目標			施策に対する評価	住民満足度 5段階評価 平均点	全体評価
		指標	目標	H26			
農業の振興	有給荒廃農地の有効活用	遊休荒廃農地の解消面積	20.0ha	74.0ha	耕作者への指導、交付金活用により遊休荒廃農地を解消。引き続き取り組む課題。	3.09	○産業の振興は民間に任せる面があるものの規制緩和や補助金交付等、可能な範囲で行政が支援
	地産地消の推進	学校給食への食材供給品目数	35品	39品	学校、直売所、生産者との調整により実施。今後も相互理解により実施。		
	農産物販売体制の改善・強化	農産物直売所等の確保	—	—	既存直売所の支援。売上及び農家所得の向上を図る。		
グリーンツーリズムの推進	みのわ健康グリーンツーリズムと連携した観光の展開	—	—	—	食・農・健康・コミュニケーションをテーマとした新規事業を実施。交流人口の増加を図る。	3.18	○暮らしやすい町を維持するために働く場の確保等、産業への支援が必要
企業誘致の推進 ものづくりによる経済基盤の強化 雇用の安定	企業への支援体制の強化	製造品出荷額	2,000億円	1,576億円	企業振興相談員の配置や、工場等に対する補助事業を実施。景気悪化により製造品出荷額は減少。	3.02	○工場の立地については景観形成と関連があるためバランスのとれた土地利用を検討
	「オリジナリティ」のあるものづくりの開発支援	—	—	—	異業種交流による新製品の企画開発活動等を支援。		
	雇用の促進	—	—	—	公共職業安定所等と連携し、雇用機会の拡大を推進。		

箕輪町第4次振興計画の評価

第6章 豊かな文化を育み、次世代を担う人材を育てるまちづくり

項目	実施した施策	数値目標			施策に対する評価	住民満足度 5段階評価 平均点	全体評価
		指標	目標	H26			
ひと味ちがう箕輪の子ども育成事業の充実	ひと味ちがう箕輪の子ども育成	—	—	—	町の子育てブランドとして確立。他地域との違いが明確なのか課題。	3.46	<p>○生涯学習の機会等は用意されているところ</p> <p>○生涯学習、スポーツ振興等については人材の確保も必要</p> <p>○少子高齢化が進むにあたり、誰にどんなコンテンツを用意すべきか検討すべき</p> <p>○施設については改修時期を迎えているものもあり、計画的な対応が必要</p>
生涯教育の推進	分館活動の充実	分館行事への延べ参加者数	15,000人	17,227人	地域出前講座などの開催でより多くの住民が参加。	3.37	
	生涯学習機会の充実	各種講座・教室の延べ受講者数	2,500人	2,833人	多彩な講座の開催で受講者数が増加		
	生涯学習発表の場の充実	町民文化祭への参加団体数	110団体	120団体	出展・出演のしやすい環境の整備により、参加者が増加。		
	生涯学習団体の人材の育成	生涯学習団体指導者への育成	5団体	3団体	団体構成員が高齢化。若い世代の育成が必要。		
フェンシングのまちづくり	競技スポーツの振興	フェンシングの全国・国際大会上位入賞者数	4人	6人	新たにジュニアの大会を開催。憧れの大会となるよう体制を整備。	3.38	
屋内スポーツセンターを活用したスポーツの発展	スポーツ施設の整備	ながたドームの利用者数	—	27,914人	屋内人工芝施設のながたドームを建設し多くの町民が利用。町民体育館等は改修・修繕計画が必要。		
図書館の整備	図書館利用の拡大	図書館延べ利用者数	55,000人／年	68,984人／年	講座・イベントの開催により利用者増加。	3.21	
	図書館運営内容の充実	—	—	—	生涯学習の拠点となり、箕輪町にふさわしい図書館のあり方について検討が必要		

箕輪町第4次振興計画の評価

第7章 それぞれの個性を活かし、うるおいのある地域づくり

項目	実施した施策	数値目標			施策に対する評価	住民満足度 5段階評価 平均点	全体評価
		指標	目標	H26			
沢区							
大出区							
八乙女区							
下古田区							
上古田区							
中原区							
松島区							
木下区							
富田区							
中曽根区							
三日町区							
福与区							
長岡区							
南小河内区							
北小河内区							